



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2012～2013 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「質素な運営 豊かな奉仕」

◆会長 足立 常孝 ◆幹事 田中 雅昭 ◆会報委員長 坂家 賢司 ◆会報担当 水川 巧

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 954 回	51 名	51 名	44 名	—	86.27%
前々回 952 回	51 名	51 名	43 名	1 名	86.27%

<点 鐘>
<ロータリーソング>
<四つのテスト>

会長 足立 常孝
我等の生業

<本日のゲスト>
高山青年会議所

理事長 伊東 寿充 様
専務理事 野畑 和久 様
副理事 大洞 宏之 様
副理事 鈴木 貴 様

病気にならないために、

- ①なるべく「日光をよく浴びる」
- ②1 時間に 1 回「大きく背を伸ばす」
- ③1 日 3 回「爪をもんでみる」
- ④週末は「玄米を試してみる」

まずはこの 4 つを「気楽に始めてみよう」だそうです。

新潟大学大学院医学部教授 安保 徹 先生の「疲れない体をつくる免疫力」という本に記載してありました。

花粉症も、体を冷やす生活も、ストレスが影響しているとありました。「基礎体力を年齢に関係なくつける事は、自分の老化を遅らす事」と自覚して健康管理に努めたいと思います。

<会長の時間>

会長 足立 常孝

本日の例会は、会員増強委員会担当の例会です。中田委員長宜しくお願い致します。

さて、本日の会長の時間は、還暦を過ぎて老化をヒシヒシと感じている私が、「疲れない体をつくる免疫力」という話をいたします。

ヒシヒシと感じると言いましたが、先日、あられを食べていて奥歯が折れてあられと一緒に食べてしまいました。歯も老化して脆く弱くなる事を知りました。咀嚼は大切ですが、硬い食べ物を噛む行為は歯を悪くするそうです。

「免疫力」を高める事によって、「疲れない体」を作るコツは、日々の日常生活からで、疲れにくい人は病気になりにくいそうです。



<幹事報告>

幹事 田中 雅昭

◎R I 本部より

・ザ・ロータリーアン誌

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

・ガバナー月信 2 月号訂正

P3 <誤>ワースト 1 位 第 2840 地区 東京/沖縄

<正>ワースト 1 位 第 2580 地区 東京/沖縄

P7 <誤>入会会員 名張中央 RC 広瀬 康頭

<正>入会会員 本巢 RC 広瀬 康頭

・2013 年度国際ロータリー年次大会のご案内

・会員基盤増強維持研修セミナー開催のご案内

日 時：2 月 24 日（日）13：00～

会 場：岐阜都ホテル

・2012～2013 年度地区大会記録誌

◎国際ロータリー第 2630 地区

ガバナーエレクト事務所より

・2013 年会長エレクト研修セミナー開催のご案内

日 時：3 月 16 日（土）10：30～

会 場：桑名シティホテル

登録料：10,000 円

◎国際ロータリー第 2630 地区

2011-2012 年度石井ガバナーより

・地区記録誌

○国際ロータリー第 2580 地区ガバナー事務所より

・第 14 回ロータリー国際囲碁大会のご案内

日 時：4 月 12 日（金）14：00～

会 場：韓国 大邱市中区西門路 2 街 6 6

徳榮歯科病院ビル内

登録料：14,000 円

- ロータリー米山記念奨学会より
 - ・確定申告用領収書送付について
- ロータリー日本財団より
 - ・確定申告用領収書送付について
- ロータリーの友事務所より
 - ・2013-2014 年度版
ロータリー手帳お買い上げのお願い
1冊 630円



- <ぎふ清流国体高山市実行委員会より>
 - ・ぎふ清流国体高山市実行委員会第 5 回総会(解散総会)の開催について
日時：3月5日(火) 13:00～
会場：ひだホテルプラザ
- <岐阜県環境生活部人権施策推進課より>
 - ・人権だより No.52
- <(株)クマヒラより 会長 熊平雅人(東京RC会員)>
 - ・「抜粋のつづり その72」

国際奉仕委員会から

「カンボジアの子供達に文房具を送ろう」
募金のお知らせ

クラブ奉仕委員会から

「陸軍特別攻撃隊員 板津忠正氏」
講演会のお知らせ

清水幸平親善奨学生カウンセラーより

奨学生清水志野さんの現況報告

<本日のプログラム>

会員増強委員会 委員長 中田 学

本日は、会員増強委員会の担当例会です。
『基盤拡大』仲間を増やす、より具体的には、会員を何人か入会させるということでしょう。『基盤拡大』その事にとどまらない、自分なりに考えました。
今日は、JC の皆さんにお越しいただきました。地域や社会に奉仕する団体、ロータリーとは同じような兄弟の様なものです。
JC の行っている事業をお聞かせ頂き、協力し合える事、コラボ出来る事を考える機会になればと思っております。もちろん JC は 40 歳まで、あとはロータリークラブでという下心はあります。
まずは、伊藤さんから、JC と中央ロータリーの関わりについてお願いします。



伊藤 正隆 会員

JC 入会(昭和 54 年=1979 年 1 月)
当時の会員は、80 名程、その内三栄会の会員が 8 名、約 1 割

『明るい豊かな町づくり』会費は、運営費以外は事業費に使用

具体的には

- 宮川清掃 (JC メンバーが自ら)
 - 〃 (小学生を入れて)
 - 〃 (近隣町内会と連携して)
 - 〃 (宮川を美しくする会へ移管)
- 現在は市民運動として定着

その他の事業(10 年をめどに移管)

- ・少年野球大会 (JC 旗争奪)
- ・少年サッカー大会 JC 旗争奪)
- ・フレンドシップキャンプ



- 1990 年 第 35 代理事長
創立 35 周年記念事業
みちへの道(将来を見据えたビジョン書)
創立 30 周年の時、空港協会創立の為の出損金(空港・高規格道路・地方分権・道州制)
- 1990 年 高山中央ロータリークラブの設立準備
キーマンの中には JC OB が多く含まれていた。
奉仕団体である。

- ・ロータリーの三大義務
 - ①会費の納入
 - ②例会出席
 - ③ロータリー誌の購読
- ・一業種一人=自分の職業を通じて奉仕
- ・現在は五大奉仕
 - ①クラブ奉仕
 - ②職業奉仕
 - ③社会奉仕
 - ④国際奉仕
 - ⑤新世代(青少年)奉仕
- 出前講座 (JC に協力依頼)

高山青年会議所 理事長 伊藤 寿充 様

私は、第 58 期公益法人高山青年会議所理事長の伊藤寿充と申します、どうぞ宜しくお願いします。



本年度私共は、志高く、和光の団結ということのスローガンにして、会員相互のつながり、あるいは地域とのつながり、あるいは他の奉仕団体との連携を密にすることでより効果的な町づくりの運動をしていけないかと思ひ、このスローガンを掲げ一年間活動していきます。

本年度は、五つの委員会でその事業をやっていきます。アカデミー委員会、地域交流委員会、地域活性委員会、近未来ビジョン創造委員会、人材育成委員会の五つの委員会を柱に今年度一年間事業を実施してまいります。

後ほど各委員会の事業内容を一緒に来ている仲間が発表をさせていただきます。

その中で、欠席しているメンバーがおりますので、地域交流委員会の事業内容を私が説明をさせていただきます。

この頃地域コミュニティが希薄になってきている、地域コミュニティ再生を目指して、子供のころ皆でやった野球をもとにして、交流が図れないかと思ひ、全市を対象にしまして、野球の一大トーナメントを開催して、地域コミュニティを密にしていこうとした試みを実施していきます。その際には皆様方にはご協力を宜しくお願ひします。続いて他の事業の説明を他の仲間からさせていただきます。

高山青年会議所 専務理事 野畑 和久 様

近未来ビジョン創造委員会は次世代を見据えた青年会議所運動の研究及び検証を委員会の根幹としてこの一年活動してまいります。



「温故知新 ～みんなでつなぐ未来への架け橋～」を委員会スローガンに掲げ、何をこのまちに残すべきなのか、発掘する事なのか、或いは新しく創造していく事なのかを次に時代をしっかりと見据えた上で様々な角度からの検討を行います。

そして、3年～5年の近未来においての高山青年会議所のまちづくり活動に、明確な形にて活かす事ができ、且つ次年度以降へも自信を持って提案のできる内容を一年の時間をかけて創り上げたいと思ひます。

事業内容と致しましては、高山市や周りの団体の方々の意見抽出と近未来ビジョンの下地作りを行う4月例会、その間の勉強会等を経た上で10月例会にて近未来ビジョンの提案をしてまいりたいと思ひます。

あわせて、第40回を迎える青年の船とうかい号の支援と高山青年会議所創立60周年の記念事業も視野に入れ、具体的な検討も行ってまいります。

今年一年どうぞ宜しくお願ひ致します。

人材育成委員会PR

みつめよう 自分とこの町を！というスローガンのもと、組織の中でどのような役割を果たし、周囲にどのような役割を求められているのか自分自身を見つめ直すことで、地域に還元できるような人としての財産(人材)を育成出来るように研修事業を行います。

皆様のような人財になれるように一年を通して精進して

まいります。

福祉事業を担当しておりますので、募金活動はもちろんのこと、献血活動と連動して骨髄バンク登録事業も行います。皆様にもご賛同、ご協力いただけましたら、嬉しいです。

よろしくお願ひ致します。

高山青年会議所 副理事 大洞 宏之 様

私達公益社団法人青年会議所は「明るい豊かな社会」を実現するために日々活動しています。地域住民をはじめ、行政、各団体様とも協働し、これまで様々な事業を展開してまいりました。



商業地域の分散化、ライフスタイルの変化という要因も考えられますが、高山の中心市街地にある商店街の活気が失われつつあると感じます。そこで、今一度高山の活性の為、起爆剤になりうる事業を展開しようと思ひ、今秋「本町商店街」を舞台に「たから市」を開催する事に致しました。

「たから市」とは、2011年に高山総合福祉センター、2012年に飛騨・生活文化センターで行われた地域の特性を活かし(地域資源の活用)永続的な地域の発展の為に、それらの取組や地域資源をより多くの皆様に紹介するため、地域資源を地域のたからととらえ、高山市の「地域のたから」を一堂に会して、「地域活性たから市」として発信する事業です。地産地消にこだわり、高山内外に高山の魅力を広くアピールしたいと考えております。

さらにその集客効果を高める為、盛り上がりの為に、「ギネス世界記録」に挑戦する事を企画しました。

挑戦する「ギネス世界記録」の内容は、飛騨牛による世界一長い串焼きを考えています。

現在の記録は、石垣市が主体になって行われた、石垣牛による107.6mの串焼きが2011年に記録されました。

この「たから市」は、高山の魅力ある「たから」を再認識して頂き、地域住民の夢・希望、可能性・地元愛を育み、文化・産業を見直して頂く機会を作る場を提供し、また、観光客にも積極的に参加して頂き、広く高山の素晴らしさをアピールします。以上の趣意をご理解頂きました上で、何卒ご協力宜しくお願ひ申し上げます。

高山青年会議所 副理事 鈴木 貴 様

皆さんこんにちは。

アカデミー委員会担当副理事長の鈴木貴です。

本年度アカデミー委員会では三つの大きな役目を担っております。

1つ目は文字通り、新入会員育成です。一年かけ青年会議所の魅力を新入会員5君へ伝達していきたいと思ひます。2つ目は会員交流です。メンバー間の絆を深める事業を行います。

そして3つ目が会員拡大です。
 本日はその為にマイクを握らせて頂いたと言っても過言
 ではありません。
 青年会議所は40歳までの青年たちの集まりです。
 どうか、情報提供を宜しくお願い致します。



<2月のお祝い>

おめでとうございます

<会員誕生日>

該当者なし

<夫人誕生日>

中田 一男	さち子	2月 9日
伊藤 正隆	順子	2月18日
坂之上健一	孝子	2月24日

<結婚記念日>

堀口 裕之	H 4年	2月 8日
谷口 欣也	H 1年	2月18日
伊藤 正隆	S 56年	2月25日



お誕生日を祝して

<ニコニコBOX>

本日は高山青年会議所 理事長 伊東寿充様・専務理事
 野畑和久様・副理事 大洞宏之 様・副理事 鈴木貴様
 のご来訪を心より歓迎致します。本日はよろしく
 お願い申し上げます。
理事役員一同

本日の例会は若いゲストの方が4人も出席されています。
 中田増強委員長さんの熱意が伝われば幸いです。J Cの役
 員さん、本日はご苦勞様です。
足立 常孝

J C現役メンバー 伊東理事長はじめ4名の方のご来訪
 を歓迎致します。
伊藤 正隆

今日はゲストスピーカーとして高山J C伊東理事長御一
 行様、お越し頂きありがとうございます。宜しく
 お願い致します。
中田 学

J C伊東理事長以下執行部の皆様のご来訪を歓迎致
 します。入会予定のお話でも期待しています。

三枝 祥一

高山J Cの伊東理事長・野畑専務理事・大洞副理事長・鈴
 木副理事長のご来訪を歓迎致します。申し訳ありませんが
 本日早退させて頂きます。

下田 徳彦

担当例会なのに、中田委員長すみません。早退させて下
 さい。

堀口 裕之

本日、10回目を数える「雫宮祭」のご協賛のお願いをさ
 せて頂きました。祭りの意をくんで頂ければ幸いです。ど
 うかよろしくお願ひします。

都竹 太志